

秋の講演会

10月21日(金) ホテルアウィーナ大阪

「聴覚障害児が学ぶ音環境と補聴器」

講師：白石君男先生(九州大学大学院芸術工学研究院音響部門 教授)

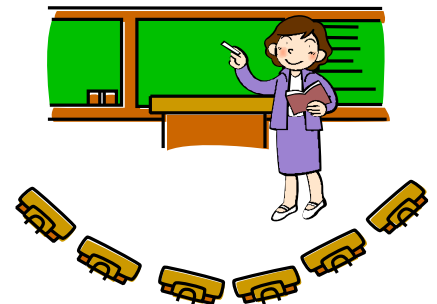


全日ろう研大阪大会を無事に終えた翌10月21日、秋の講演会が行われました。午前には日本教育オーディオロジー研究会の第3回総会・研究会があり、午後には日本教育オーディオロジー研究会と共催で講演会が開催されました。

講師には白石君男先生(九州大学大学院芸術工学研究院 音響部門 教授)をお招きし、「聴覚障害児が学ぶ音環境と補聴器」のテーマでご講演いただきました。

聾学校の教室における壁材や床材の違いによる残響時間の違いについてのデータ、また補聴器

の雑音抑制機能に関する効果について計測されたデータなど、白石先生の実際の研究内容を元に、子どもたちの音環境と補聴器について、具体的に多くの事例を挙げてお話しいただきました。音環境の整備などを改めて見直すきっかけとなる、とても有意義な講演会となりました。



冬の学習会

1月14日(土) 兵庫県学校厚生会館

冬の学習会が、兵庫県ブロックの主催で行われました。あいにくの雨でしたが、スタッフも含めると80名ほどの参加がありました。

午前中の第1部は、兵庫県の学校の先生方の研究発表を5本おこないました。それぞれの先生方が一生懸命取り組まれてきたことなので、持ち時間の発表時間が過ぎてしまい、質問の時間がとれないくらいでした。ビデオ等も見せていただいたので、内容がよく理解できました。



第1部 研究・実践発表

豊岡聾学校の地域支援の取り組み

兵庫県立豊岡聾学校

長谷川琴美

コミュニケーションで育てる学習レディネス

～ダウン症M児のトイレ指導を中心に～

兵庫県立姫路聾学校

柘田睦美

高等部「国語表現」授業の取り組み

兵庫県立神戸聾学校

杉本奈津子・柳瀬尚子

重複障害のあるろう児童への支援について

～寄宿舎におけるライフ・スキル・トレーニング～

兵庫県立神戸聾学校

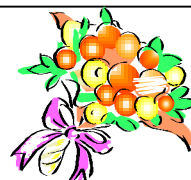
南美知代・松木佑輔

人工内耳装用児の聴覚学習について

兵庫県立こばと聾学校

大谷淳子

研究・実践発表にご協力いただいた兵庫県の
各聾学校の先生方ありがとうございました。



第2部 講演

「手話の活用と日本語習得支援」

講師：奈良県立ろう学校 中井弘征先生



午後からは、「手話の活用と日本語習得支援」をテーマに、奈良県立ろう学校の中井弘征先生に講演をお願いしました。

奈良県立ろう学校が考える手話と日本語の言語獲得のモデルを、「木」にたとえてお話を進めてくださいました。キュードスピーチから手話を取り入れてきた経過や、その後、子どもたちへ手話を導入した結果がどうであったのか。ITPAを実施し、キュードスピーチの時代と、手話導入後でどのように変わってきたのかをきちんと立証しておられました。コミュニケーションがスムーズになるだけではなく、日本語力も上がったという事実を報告してくださいました。

また、個別指導の楽しい様子がビデオで紹介され、「役割交代」を上手に取り入れながら、「お勉強」ではなく、先生と楽しくおしゃべりしながら、手話で培われた力を日本語につなげている様子がよく分かり、今後の取り組みに参考になる講演となりました。



お世話になっています

本会が開催する講演会や講習会では、大学や研究機関、また近畿以外の聾学校の先生方に数多くご協力をいただいています。そんな、お世話になっている方に、本会の企画に参加いただいた感想や、期待することなどを今後ご寄稿いただこうと思います。

今回は、8月の第7回講習会で発音指導を担当いただいた、愛知県立千種聾学校赤下五雄先生です。赤下先生は、東海教育オーディオロジー研究会では事務局代表を担当されています。

近畿教育オーディオロジー研究協議会

総会および講演会、講習会に参加して

愛知県立千種聾学校 赤下 五雄

東海教育オーディオロジー研究協議会の赤下です。今回初めてこの講習会に参加させていただきました。大阪は、私にとっては大学の4年間を過ごしたところなので、帰省したような懐かしさを感じました。

この会は東海地区の会とは異なり、歴史が古く、会員数、通級教室や難聴学級との連携、また、講師の方のレベルの高さなど多くの点で、大変うらやましく思いました。講習会の参加者も多く、皆さん大変熱心で、熱い視線に体が灼けそうでした。特に、懇親会の参加者が多く、熱心に情報交換、論議しているところが印象的でした。スタッフと参加者の距離はほとんど感じず、講習会だけでは学べないことが学べる有意義な会でした。ありがとうございました。近畿教育オーディオロジー研究協議会のますますの発展を祈ります。

上級講座参加報告

日本教育オーディオロジー研究会上級講座に参加して

和歌山県立和歌山ろう学校 山本 真理

この講座は、各地域の教育オーディオロジー研究協議会の講習会等を実施していく上で必要な専門性向上のため開催されている講座で、全国各地の聾学校の聴能教育担当者等が約50名参加して、平成18年2月17日～19日に筑波技術大学で行われました。

全体的な講演では、「教育オーディオロジーの課題」「人工内耳のリハビリテーション」「補聴器とサウンドスケープ」「アメリカの教育オーディオロジーの実情」「難聴と遺伝子」について最新の情報を分かり易く教えていただきました。

選択講座では、補聴器、音響、検査、聴覚学習、聴能評価に関する内容等から2講座選択し受講しました。まだまだ経験なく知らないこともあり、聴能教育の奥の深さを感じながら色々勉強させてもらいました。

また、乳幼児、重複障害児、中軽度難聴児への補聴やデジタル補聴器についての事例検討会もあり、実際に各校で困っている事例について持ち寄り検討しました。各校各地域の現状も含めて意見交換したり、経験豊富な先生方にアドバイスしていただいたりして悩みも解決できました。

今回は、近畿の聾学校から講師担当者も含め10数名が参加して、あらためて近畿のパワーを実感しました。



来年度の予定

来年度の予定が1月の代表委員会で決定されました。講演会・講習会とも、今年度と同様に実施する予定です。

第1回代表委員会

平成18年 5月11日(木) 大阪市立聾学校

第2回代表委員会

平成18年 8月16日(水) 大阪府立生野聾学校



第8回講演会・講習会

平成18年 8月17日(木) 午前 アウィーナ大阪・大阪府立生野聾学校
8月18日(金) 全日 大阪府立生野聾学校

秋の講演会

平成18年11月 3日(金) 大阪市内

第3回代表委員会

平成19年 1月12日(金) 和歌山県立和歌山ろう学校



冬の学習会

平成19年 1月13日(土) 和歌山県内



各地の研究会案内

その他、新着の研究会案内は、
本会ホームページでご確認ください。



第35回 補聴器勉強会

日程：2006年6月24日(土)・25日(日)
会場：ホテル アウィーナ大阪
(内容等は、現在検討中とのこと)

近畿教育オーディオロジー 研究協議会事務局

〒639-1122
奈良県大和郡山市丹後庄町456
奈良県立ろう学校内

事務局長 中井 弘征

TEL: 0743-56-2921
FAX: 0743-56-8833

メール: h-nakai@indigo.plala.or.jp